

# 国の機関で雇い止め 是正せよ

## 井上議員 参院内閣委



井上さとし参院議員は16日、内閣委員会で質問に立ちました。

ハローワーク

の期間業務職員などが三年目からは公募に応じなければならぬ、「三年公募要件」について、本来常勤職員がやるべき職務なのに、不安定雇用になっていると指摘し、廃止を求めました。

これに対し、人事院の川本裕子総裁は「要件の在り方を検討したい」「実際に働いている職員の声を聞きたい」と答弁しました。

さらに井上氏は、国土交通労働組合・関東建設支部の調査で国道・河川などの45事務所の期間業務職

員について、同省全体で「三年雇い止めルール」が廃止されたものの、その後、六年目の採用は一人もないと指摘。「任用制度に抵触する、五年雇い止めルールがあるのではないかと。事実を把握し是正すべき」とただしました。

これに対し、内閣官房内閣人事局の窪田修人事政策統括官は「個別の事案は国土交通省で対応される」と無責任な答弁に終始しました。

井上氏は「内閣人事局として周知してきたことに反することが起きている。把握し是正すべきだ」と重ねて求めました。

# 20日(月)ブロックいっせい宣伝の成功を



# 工藤副大臣は辞任を 統一協会とのゆ着 ただす もとむら議員 衆院特別委



もとむら伸子衆院議員は16日、消費者問題特別委員会で質問にたち、霊感商

法の被害者相談にあたる消費者担当の工藤彰三(愛知4区)副大臣と統一協会の癒(ゆ)着問題を追及しました。

工藤副大臣は、もとむら議員の質問に対し、統一協会の韓鶴子総裁と5回も会ったことを認めました。また、選挙でも電話がけなど応援をもらっていたと認めました。

工藤副大臣は2015年、教団名変更式典に参加し、「私は総裁でありました文鮮明総裁、韓鶴子総裁、この御二方の素晴らしい活動を、今日皆様の前でお話する時、本当に心から感動を覚えております、身震いする思いで今お話をさせていた

いております。」などと祝辞。

もとむら氏は、教団名変更で、統一協会と知らずに被害にあった人もいる。どう責任を考えているのかと質問。

これに対し、工藤副大臣は、統一協会側が用意した文章を読んだと答弁。もとむら氏は統一協会の言いなりだと批判しました。

また、もとむら氏は、2018年6月、全国霊感商法対策弁護士連絡会が「政治家が同教団の式典へ来賓参加し、祝電を送る行為は、教団側にお墨付きを与え、反社会的な活動を容易にするものであり、その連携がどのような社会的弊害をもたらすか考えるべき」と、全ての国会議員に支援を受けないように求める文書を届けていたと指摘。

工藤副大臣が、その後も、2018年7月の埼玉県の集会、2019年10月5日のホテルナゴヤキャ

街頭宣伝	美比	初美	比例候補
17日(金)	16:00	すやま	名張駅前
18日(土)	10:00	もとむら	伸子衆院議員
	10:30	四日市	中央緑地公園入口
	11:00	四日市	日永カヨ一前
	12:00	近鉄四日市	室山町マックスバリュ前
	17:00	桑名駅前	三交イン
18日(土)	10:00	井上さとし	参院議員
	10:30	名古屋	栄 松坂屋北館東側
	11:15	栄スカイル	前
		矢場町	交差点

ッスルでの教団関係団体の集会に参加し、名古屋では、神田憲次衆院議員(愛知5区、財務副大臣を辞任)などと韓鶴子総裁との写真を撮っていたこと、翌10月6日は、韓鶴子総裁が参加する常滑市での集会にも参加し、来賓祝辞をしていたと述べました。

もとむら氏は、「被害者を軽視してきた、被害者の声を聞いてこなかった工藤氏は、副大臣に相応しくないと、どこが“適材適所”か、副大臣を辞任すべきだ」と追及しました。